

広重ブルー — 世界を魅了した青

前期:2014年4月1日(火)~4月27日(日) 後期:5月1日(木)~5月28日(水)

(4月7、14、21、28~30日 / 5月7、12、19、26日は休館致します。)

※展示期間: 前期: 4/1~4/27 後期: 5/1~5/28 ※期間中、展示替えをおこないます。塗りつぶし部分が各作品の展示期間となります。

※展示スケジュールは、作品の状態、その他やむを得ぬ事情により、変更されることがあります。

太田記念美術館

作者	画題	年代	前期	後期
歌川広重	播磨室之津 絹本一幅	嘉永2-4年(1849-51)頃		
歌川広重	待乳山雪中月夜之景 絹本一幅	嘉永-安政5年(1848-58)頃		
歌川広重	隅田川筑波山遠景/利根川鴻の台風景 絹本双幅	嘉永-安政5年(1848-58)頃		
二代歌川広重	隅田堤桜花図 紙本一幅	安政6-慶応元年(1859-65)		
歌川広重	東都名所拾景 深川新地	文政(1818-30)後期頃		
歌川広重	東都名所 両国之宵月	天保2年(1831)頃		
歌川広重	東都名所 佃嶋初郭公	天保2年(1831)頃		
歌川広重	東海道五拾三次之内 品川 日之出	天保4-7年(1833-36)頃		
歌川広重	東海道五拾三次之内 見附 天竜川図	天保4-7年(1833-36)頃		
歌川広重	東海道五拾三次之内 舞坂 今切真景	天保4-7年(1833-36)頃		
歌川広重	京都名所之内 淀川	天保5年(1834)頃		
歌川広重	金沢八景 洲崎晴嵐	天保6-7年(1835-36)頃		
歌川広重	東都名所 真崎雪晴之図	天保6-10年(1835-39)頃		
歌川広重	東都名所 隅田川全図雪中景	天保6-13年(1835-42)頃		
歌川広重	四季江都名所 冬 隅田川之雪	天保5年(1834)頃		
歌川広重	日本湊盡 相州浦賀	天保8-13年(1837-42)頃		
歌川広重	江戸名所之内 両国花火	天保5-7年(1834-36)頃		
歌川広重	四季江都名所 夏 両国之月	天保5年(1834)頃		
歌川広重	東都名所 新吉原衣紋阪秋月	天保8-10年(1837-39)頃		
歌川広重	六玉河之内 武蔵調布	天保前期(1830-36)頃		
歌川広重	五十三次名所図會三十 浜松 名所ざんざのまつ	安政2年(1855)		
歌川広重	五十三次名所図會四十八 関 参宮道追分	安政2年(1855)		
歌川広重	近江八景 石山秋月	安政4年(1857)		
歌川広重	近江八景 唐崎夜雨	安政4年(1857)		
歌川広重	六十余州名所図會 伊豫 西條	安政2年(1855)		
歌川広重	六十余州名所図會 對馬 海岸夕晴	安政3年(1856)		
歌川広重	六十余州名所図會 薩摩 坊ノ浦雙剣石	安政3年(1856)		
歌川広重	六十余州名所図會 出羽 最上川月山遠望	嘉永6年(1853)		
歌川広重	六十余州名所図會 隠岐 焚火の社	嘉永6年(1853)		
歌川広重	名所江戸百景 日本橋雪晴	安政3年(1856)		

歌川広重	名所江戸百景 芝うらの風景	安政3年(1856)
歌川広重	名所江戸百景 高輪うしまち	安政4年(1857)
歌川広重	名所江戸百景 玉川堤の花	安政3年(1856)
歌川広重	名所江戸百景 川口のわたし善光寺	安政4年(1857)
歌川広重	名所江戸百景 はねたのわたし辨天の社	安政5年(1858)
歌川広重	名所江戸百景 両国橋大川ばた	安政3年(1856)
歌川広重	名所江戸百景 愛宕下藪小路	安政4年(1857)
歌川広重	芦に鶉	天保前期(1830-36)頃
歌川広重	枇杷に小禽	天保前期(1830-36)頃
歌川広重	上野不忍の池雪の景	弘化4-嘉永元年(1847-48)頃
歌川広重	東都洲崎の汐干	安政2年(1855)
歌川広重	諸国六玉川 武蔵調布	安政2年(1855)
歌川広重	諸国嶋づくし 東都佃嶋より芝浦品川沖を見る図	天保14-弘化4年(1843-47)
二代鳥居清信	新板江戸八景 五品川の帰帆	享保10-宝暦11年(1725-61)
石川豊信	新田三幅対	延享-明和2年(1744-65)頃
北尾重政	浮絵安芸国佐伯郡厳島図	明和-安永(1764-81)頃
昇亭北寿	新板浮絵両国橋夕景色之図	享和-文化(1801-18)頃
葛飾北斎	新板浮絵日本橋肴市繁昌之図	文化(1804-18)頃
葛飾北斎	瀬田の夕照	文化(1804-18)頃
葛飾北斎	富嶽三十六景 相州七里濱	天保2年(1831)頃
葛飾北斎	波に千鳥	天保初期(1830-32)頃
歌川国芳	山海名産尽 伊勢鯨	文政末(1827-30)頃
歌川国芳	東都名所 てつぽふづ	天保初期(1831-33)頃
二代歌川豊国	名勝八景 熱海夕照	天保前期(1830-35)
溪斎英泉	江戸八景 両国橋の夕照	天保14-弘化4年(1843-47)
歌川国貞(三代歌川豊国)	江戸名所百人美女 葉けんぼり	安政5年(1858)
歌川国貞(三代歌川豊国)	東海道五十三次之内 大磯 とら (七代目岩井半四郎)	嘉永5年(1852)
二代歌川広重	東都名所 吉原仲之町	文久2年(1862)
河鍋曉斎	東海道名所之内 鴨立澤	文久3年(1863)
三代歌川広重	東海名所改正道中記五 神奈川 蒸気の待合 程ヶ谷迄一り九丁	明治8年(1875)
三代歌川広重	東海名所改正道中記廿一 江尻 三保の松原 静岡迄二里廿七町	明治8年(1875)
豊原国周	開化三十六会席 王子 扇屋	明治11年(1878)
二代歌川国輝	東京府下煉化石従商家京橋観之図	明治6-7年(1873-74)

歌川広重	京嵐山渡月橋	絹本一幅	嘉永-安政5年(1848-58)頃
歌川広重	海晏寺観楓	絹本一幅	嘉永-安政5年(1848-58)頃
歌川広重	信州更科田毎の月	絹本一幅	嘉永-安政5年(1848-58)頃
歌川広重	月夜観桜美人図	絹本一幅	嘉永-安政5年(1848-58)頃
二代歌川広重	桜下美人図	絹本一幅	安政6-慶応元年(1859-65)
歌川広重	東都名所拾景 日本橋		文政(1818-30)後期頃
歌川広重	東都名所 高輪之明月		天保2年(1831)頃
歌川広重	東都名所 芝浦汐干之図		天保2年(1831)頃
歌川広重	東都名所 洲崎雪之初日		天保2年(1831)頃
歌川広重	東海道五拾三次之内 沼津 黄昏図		天保4-7年(1833-36)頃
歌川広重	東海道五拾三次之内 吉田 豊川橋		天保4-7年(1833-36)頃
歌川広重	京都名所之内 嶋原出口之柳		天保5年(1834)頃
歌川広重	金沢八景 瀬戸秋月		天保6-7年(1835-36)頃
歌川広重	本朝名所 相州七里ヶ濱		天保中期(1833-36)頃
歌川広重	東都名所 御殿山花見 品川全図		天保6-13年(1835-42)頃
歌川広重	江都勝景 よろみの渡し		天保中期(1833-39)頃
歌川広重	新板 東都名所 永代ばし		天保後期(1839-40)頃
歌川広重	月二拾八景之内 葉ごしの月		天保前期(1830-36)頃
歌川広重	東都名所 佃島海辺朧月		天保中期(1833-39)頃
歌川広重	東都名所之内 雪ノ朝洲崎ノ初日出		天保後期(1835-43)
歌川広重	六玉河之内 陸奥野田		天保前期(1830-36)頃
歌川広重	五十三次名所図會十五 吉原 不二の沼 浮嶋が原		安政2年(1855)
歌川広重	富士三十六景 鴻之臺とね川		安政5年(1858)
歌川広重	近江八景 比良暮雪		安政4年(1857)
歌川広重	近江八景 堅田落雁		安政4年(1857)
歌川広重	六十余州名所図會 阿波 鳴門の風波		安政2年(1855)
歌川広重	六十余州名所図會 備後 阿武門観音堂		嘉永6年(1853)
歌川広重	六十余州名所図會 壱岐 志作		安政3年(1856)
歌川広重	六十余州名所図會 美濃 養老ノ瀧		嘉永6年(1853)
歌川広重	六十余州名所図會 信濃 更科田毎月鏡臺山		嘉永6年(1853)
歌川広重	名所江戸百景 深川木場		安政3年(1856)
歌川広重	名所江戸百景 浅草川首尾の松御殿河岸		安政3年(1856)
歌川広重	名所江戸百景 鎌炮洲稻荷橋湊神社		安政4年(1857)
歌川広重	名所江戸百景 永代橋佃しま		安政4年(1857)
歌川広重	名所江戸百景 月の岬		安政4年(1857)
歌川広重	名所江戸百景 四ツ木通用水引ふね		安政4年(1857)
歌川広重	名所江戸百景 逆井のわたし		安政4年(1857)
歌川広重	名所江戸百景 王子不動之瀧		安政4年(1857)

歌川広重	燕子花に白鷺	天保前期(1830-36)頃
歌川広重	鮎	天保後期(1839-43)頃
歌川広重	東海道川つくしはこね谷川の図 温泉湯亭の図	嘉永4年(1851)頃
歌川広重	江戸名所 品川の月	嘉永2年(1849)頃
歌川広重	天神記 賀のいわひ	嘉永4-嘉永5年(1851-52)頃
歌川広重	江戸旧跡尽 浅草金龍山の話	天保後期(1835-43)頃
二代鳥居清信	新板江戸八景 四隅田川の落雁	享保10-宝暦11年(1725-61)
鳥居清広	御大名行烈品川の風景	宝暦3-8年(1753-58)
歌川豊春	浮絵 中秋之景月見図	明和7-安永(1770-81)
昇亭北寿	勢州二見ヶ浦	文化(1804-18)頃
葛飾北斎	新板浮繪三圍牛御前両社之図	文化(1804-18)頃
葛飾北斎	秀逸六玉川 陸奥千鳥	文化(1804-18)頃
葛飾北斎	富嶽三十六景 礪川雪ノ旦	天保2年(1831)頃
葛飾北斎	小窩に虻	天保初期(1830-32)頃
歌川国芳	山海名産尽 紀州鯨	文政末(1827-30)頃
歌川国芳	東都名所 大森	天保初期(1831-33)頃
歌川貞秀	長崎丸山之図	天保-弘化(1830-48)頃
溪斎英泉	江戸八景 隅田川の落雁	天保14-弘化4年(1843-47)
歌川国貞	江戸名所百人美女 江戸はし	安政4年(1857)
歌川国貞	東海道五十三次の内 原 呉服屋重兵衛(目録)沢村長十郎	嘉永5年(1852)
二代歌川広重	東都名所 上野清水堂満花	文久2年(1862)
歌川芳虎	東海道 神奈川	文久3年(1863)
豊原国周	開化三十六会席 新橋竹川町 花月楼	明治11年(1878)
四代歌川豊国	東京府下第一大区京橋銀座尾張街通煉化石造商法繁盛之図	明治5-13年(1872-80)
四代歌川豊国	東京高縄品川口蒸気車往来之図	明治5年(1872)
三代歌川広重	東海名所改正道中記四十七 四日市 高砂町の貸席 桑名迄三里八丁	明治8年(1875)
歌川広重	東海道風景図會	嘉永4年(1851)
桧園梅明撰/歌川広重画	東海道名所図絵	嘉永2年(1849)
松亭金水編/歌川広重画 (十編のみ二代歌川広重画)	絵本江戸土産	嘉永3-慶応3年(1850-67)
尽語楼内匠撰/歌川広重画	江都日千両 日本橋之部	嘉永6-安政元年(1853-54)
文歌堂真名富 ほか撰/歌川広重画	俳諧歌文台雅調	天保中期(1832-39)頃
雷乃門春見ほか撰/二代歌川広重画	三都集	文久2年(1862)